

学校法人 福原学園
平成20年度事業計画

学校法人福原学園 理事会

目 次

1 . 平成 2 0 年度事業計画の基本方針	(2)
2 . 平成 2 0 年度の事業計画	(2)
(1) 教育改革の推進	(2)
1) 大学・短期大学	(2)
学部等の改編	
教育の内容・方法等の充実	
学生支援	
キャリア支援	
地域貢献	
日本高等教育評価機構等による認証評価	
2) 高等学校	(4)
教育の質的向上	
クラブ活動の指導強化	
3) 九州女子大学附属幼稚園	(4)
(2) 管理運営体制の整備・改善	(4)
1) 財務の改善	(4)
2) 教学懇談会の運営	(5)
3) 事務組織の機能・編成の見直し	(5)
4) 事務職員等の人事制度	(5)
5) 教員の昇任基準の明確化	(5)
6) 教職員の人事評価	(5)
(3) 教育環境の整備	(5)
1) 施設環境の整備	(5)
2) 設備の充実	(6)

福原学園平成20年度事業計画

1 平成20年度事業計画の基本方針

平成20年度は、昨年の本学園創立60周年記念を機に建学の原点に立ち返り、新たに飛躍を始める年である。

飛躍にあたっては、学園財政の収支均衡化を早期に達成しなければならない。そのために学園基盤の根幹をなす大学、短期大学、高等学校及び幼稚園は、21世紀を個性輝く持続可能な学園として発展し続けることを目的に、福原学園中期計画小委員会のもとで中期計画(6ヶ年)を策定した。ここでは調和ある教育内容の充実を図り、時代の要求に対応し、社会に貢献できる人材の育成を目指し、自己点検・評価を改善に結びつける改革システムを構築する。

2 平成20年度の事業計画

(1) 教育改革の推進

1) 大学・短期大学

本学園が設置する大学改革を推進するために、平成19年度に、大学改革検討委員会のもとに学部等の改革のための小委員会等「工学部改革検討小委員会」「スポーツ学部改革検討小委員会」「経済学部改革検討小委員会」「九州女子短期大学改革検討小委員会」及び「福原学園設置大学大学院検討ワーキンググループ」を設置して具体的方策を検討してきた。

本年度は、大学改革検討委員会において改革のアクションプランの成案を得て、機関決定の後、学長を中心とした推進体制のもとに大学改革を積極的に進める。

学部等の改編

- ア) 九州共立大学は、昨年度、入学定員の充足率の減少に歯止めをかけることができず、工学部は平成20年度から学生募集を停止する。今後は社会構造の変化に伴う社会のニーズに対応した人材育成に主眼を置いた新たな学部等の設置を目指す。また、経済学部においても、受験生に理解されやすい学士課程の教育内容に刷新するための改組を行う。
- イ) 九州女子大学・九州女子短期大学は、ここ数年の短期大学の入学定員の充足率が減少しており、短期大学の全面的な改編を含め、教育研究組織の再構築について具体的方策を示す。

教育の内容・方法等の充実

ア) GP(グッドプラクティス)への取り組み及びGPを通じての教育改革

平成19年度に九州共立大学の「生涯キャリア開発型教育システムの構築」の取り組みに対し、文部科学省が実施している補助事業の一環の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択された。その内容は、在学生のキャリア教育に関して、教職員と学生との関係を含めた実施体制づくり、また学生の問題解決能力の獲得やキャリア形成への動機付けを向上させることを主眼に置き、さらに卒業生を含む生涯にわたるキャリア支援を目指すものである。

3大学では、「特色ある大学教育支援プログラム」「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」及び「教員養成支援プログラム」の採択に向けて教育改革を推進する。

イ) 受験生の確保

受験生の確保の観点から、学部・学科単位の人材養成及び教育研究上の目的等（アドミッションポリシー）を明確にするとともに、具体化し、ホームページ及び大学案内等で受験生等に周知を図る。

また、学生確保のために入学アドバイザーと連携を取りながら、卒業生や縁故知人など大学及び教員の人的ネットワークを活用し、教員の高校訪問を行うことで高等学校との信頼関係を再構築するとともに、高校との情報交換を密にして入試制度及び業務の改善を図り、受験生の確保につなげる。

ウ) FD（ファカルティデベロップメント）の推進

九州共立大学は、既にFD委員会を設置してこれまでに活動を展開してきた。本年度は、これまでのFD活動を分析・検討し、改善に結び付ける方策と新たなFD展開のための指導機関の設置を検討する。

九州女子大学・九州女子短期大学は、本年度にFD推進委員会を設置し、学生のニーズにあった授業の改善・向上を目指す。

エ) 少人数ゼミによるきめ細やかな教育（九州女子大学・九州女子短期大学）

大学2年次又は短大1年次修了までに、大学における学生の導入教育段階において、少人数ゼミの利点を生かして、講義だけでなく、プレゼンテーションやディスカッションを取り入れて自発性を養い、より高度な専門教育へのステップアップできるよう指導する。

オ) 情報発信拠点の設置（共通）

大学を含めた学園設置校の情報発信拠点として、また大学と企業及び諸団体との連携活動が行いやすい施設として福岡サテライトを設置する。

学生支援

ア) 奨学制度の運用見直し（共通）

学力特待制度の運用において、特待生の入学後における教育向上策の検討を行い、学生全体のレベルアップを図る。

イ) オリエンテーションの充実（九州共立大学）

帰属意識の醸成、仲間づくり、退学者防止への取り組み、在学生のフォローなどの観点から宿泊研修等のオリエンテーションを充実させ、健全な学生生活環境を提供する。

ウ) キャンパスミーティングの実施（九州女子大学・九州女子短期大学）

学生と教職員が一体となって女子らしさの大学ブランドを創造していくために、全学的なキャンパスミーティングを定期的開催するとともに、グループワークや講話を通して学生のリーダー育成を図る。

エ) 各種学外奨学金の情報収集と提供の充実（九州女子大学・九州女子短期大学）

各種学外奨学金の情報収集と学生に新鮮な情報を提供するためホームページの充実を図る。

キャリア支援

ア) 就職相談の充実（九州共立大学）

キャリア支援対策としてキャリアカウンセラーを雇用し、「キャリアデザイン科目」の導入と協働し、進路選択及び決定の能力を身に付けさせ、学生のキャリア支援の向上を図る。

イ) 特別就職プログラムの導入(九州共立大学)

社会人による講座の充実を含めて、特別就職プログラムを導入し、就職決定意識の醸成を図る。

ウ) 免許・資格支援体制の強化(九州女子大学・九州女子短期大学)

多岐にわたる免許や資格の取得に係る部署を一括集約化し、集中的に取得をサポートする体制を構築する。

エ) 企業等の人材アンケート調査(九州女子大学・九州女子短期大学)

卒業生の就職先企業を追跡調査し、企業側の学生評価結果を人材育成の目標等キャリア支援に反映させる。

地域貢献

ア) 地域企業との連携(九州共立大学)

外部資金獲得を目指し、学園の研究、実験設備を利用したオープン・ラボ、レンタル・ラボ構想のための調査検討を進める。

イ) 周辺地域の小学校へのボランティア(九州女子大学・九州女子短期大学)

一般的なボランティアと分け、人間発達学科等の特別行事として展開し、将来的には単位化へ発展させ、周辺地域の学習サポーターとしての地域・社会貢献へ繋げる。

日本高等教育評価機構等による認証評価

ア) 九州共立大学は、日本高等教育評価機構への認証評価申請に向けた準備作業を進める。

イ) 九州女子大学は、大学基準協会への認証評価済みであり、今後改善に向け改革を進める。

ウ) 九州女子短期大学 短期大学基準協会への認証評価申請(平成22年度)を見据えた予備審査として、大阪成蹊短期大学との相互評価を引続き実施する。

2) 高等学校

教育の質的向上

教諭の流動化により、さらに優秀な教諭を配置し、北九州におけるブランド校としての位置付けを確立する。

クラブ活動の指導強化

文武両道の高等学校として、クラブ活動にも積極的に取り組み、環境の整備を図る。

3) 九州女子大学附属幼稚園

折尾幼稚園及び自由ヶ丘幼稚園は、九州女子大学の附属という特色を生かし、幼大連携の個性ある園児教育を継続して行う。

(2) 管理運営体制の整備・改善

1) 財務の改善

管理経費の抑制

教育・研究の充実を図りつつ、効率的な管理運営の仕組みを構築し、管理経費の抑制を

図る。

資産の運用管理

経営的視点を重視し、資産の効果的かつ効率的な運用を継続して実施する。

2) 教学懇談会の運営

教学懇談会を活用し、各種情報を学園の構成員が迅速に共有するとともに、教学と経営の意思決定システムの円滑な運用を継続して行う。

3) 事務組織の機能・編成の見直し

事務担当者連絡会議の下に「業務改善プロジェクトチーム」を編成し、学園の管理運営の効率化・事務組織の高度化を推進する。

4) 事務職員等の人事制度

事務職員等の採用は、試験制度によることを原則とする。また、大学運営の中核を担いいる事務職員等を育成するための人事システムを構築する。さらに事務職員等の資質向上のため、階層的研修を含め研修の充実を図る。

5) 教員の昇任基準の明確化

大学における教員の昇任基準のより一層の平準化を図る。

6) 教職員の人事評価

教職員の合理的な人事評価システムを検討する。

(3) 教育環境の整備

年次計画に基づく施設設備の充実及び在校生の生活環境の優先的改善を図っていく。

1) 施設環境の整備

キャンパス整備工事

九州共立大学東門、メインキャンパスロード及び旧八幡西高跡地の整備

九州共立大学

ア) 自由ヶ丘会館改修工事

イ) アスレティックトレーナー養成施設の設置

ウ) ジョブカフェ施設の設置

エ) 野球場外野フェンス改修工事

九州女子大学・九州女子短期大学

ア) 栄養学館空調設備設置工事

イ) 鶴泉寮食堂空調設置改修工事

自由ヶ丘高等学校

ア) 闘魂寮管理棟増設工事

九州女子大学附属幼稚園

ア) 折尾幼稚園空調改修工事

イ) 自由ヶ丘幼稚園外壁全面塗装工事

2) 設備の充実

九州共立大学、九州女子大学・九州女子短期大学

ア) 教務情報システムの更新

九州共立大学

ア) スポーツ学部3年次開講科目に係る器具・備品

イ) アスレティックトレーナー養成カリキュラム用器具・備品

九州女子大学・九州女子短期大学

ア) 情報教育用機器の更新

イ) グリーンラウンジ・鶴泉寮食堂厨房機器の更新